

【川崎市市制 100 周年記念事業】

未来のかわさをデザイン「こんなまちになったらいいな ♪」

【津田山保育園】 わたしたちの描く「未来の保育園」

津田山保育園の年長組の子ども達は、トイレトーパーや段ボールなどの廃材を使って「未来の保育園」を表現しました。

園舎はトイレトーパーの芯に折り紙を巻き付け、切り込みを入れ組み合わせて作成し、園舎の周りにはいろいろな動物を紙粘土で作って飾りました。一番のお気に入り「メリーゴーランド」！紙皿とペーパーの芯を組み合わせて作りました。



▲ 「メリーゴーランドもいいなあ」「うわ～本当に動くよ！」



▲ 「未来の川崎を考えて『緑いっぱい、カラフルな町』を作ろう！」

保育園の背景には、アクリル板にキットパスで色を塗ってステンドグラスのようにしました。キットパスインストラクターさんからやり方を教えてもらいました。



▲ アクリル板にマスキングテープで区切り、見えなくなるように塗りつぶし、最後にベビーパウダーをパタパタ♪

マスキングテープを剥がすと「うわぁ～！綺麗！」の歓声 ▶



全部を組み合わせて完成！



「カラフルで楽しそうな素敵な保育園ができたね♪」みんな満足顔でした。

まさに、川崎「Colors, Future!」

さらにこの先の保育園が子ども達の想像と笑顔の溢れるものでありますようお願いをこめて・・・

これからも「キットパス」と一緒に子ども達の考える「100年後の川崎」をいろいろ表現していきます！ 他の園の取組はまた次回お伝えします。お楽しみに！

問合せ先

川崎市こども未来局 保育・子育て推進部
運営支援・人材育成担当